

論文審査の結果の要旨

氏名：市川理恵

専攻分野の名称：博士（医学）

論文題名：医療事故における小児科医の感情因子に関する研究：全国データベースを用いた事例分析

審査委員：（主査） 教授 高橋昌里

（副査） 教授 藤田之彦 教授 越永従道

教授 兼板佳孝

本論文は、公益財団法人日本医療機能評価機構が公開している全国データベースの医療事故例報告を用い、2010年から6年間に小児科医が当事者となった310件の事故例報告をもとに行った後方視的研究である。具体的には、その事故例報告を複数の職種からなる研究チームで精読し、小児科医の意思決定に誤りがあると判断された180件を対象に、アクシデントが発生する前の患者を取りまく環境と小児科医の感情因子について分析したものである。

その結果、対象となった医療事件事例の58.6%が医師の意思決定過程のエラーを含んでおり、そのうち91.1%の事例では状況認識から判断までの思考段階でエラーが発生していること、そして意思決定過程のエラーを伴う事例のうち53.2%に小児科医の感情因子の影響があることが明らかとなった。また事故発生に最も影響を与えた感情因子は信頼、楽観、注意散漫などで全体の91.9%を占めることが分かった。

以上、小児科医に関連した医療事件事例の分析結果から、事故が発生する前に小児科医の感情因子が意思決定過程に影響を与えていることがわかり、その分析と管理技術の確立は医療安全管理学における重要課題であることが明らかとなった。

これまで医療事故が発生する前、状況認識から判断という思考過程ですでにエラーが生じているという視点から感情因子について研究された報告はなく新規性の高い研究であり、その結果も医療安全管理学において非常に価値の高いものである。

よって本論文は、博士（医学）の学位を授与されるに値するものと認める。

以 上

平成30年2月28日